

# 山形陸上競技協会第48回強化記録会 兼 第73回国民体育大会陸上競技大会予選会 競技注意事項

1 本大会に適用する競技規則は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則によるもののほか、次による。

(1) ハードルの高さ・ハードル間の距離は、次のとおりとする。

区分	一般（高さ／距離）	110mJH・100mYH（高さ／距離）
男子110mH	1.067m／9.14m	0.991m／9.14m
女子100mH	0.838m／8.50m	0.762m／8.50m

※ 本記録会の男子中学110mJHはジュニアオリンピックの区分A（中学3年）及び国体少年男子共通110mHの規格である。

また、女子中学100mYHはジュニアオリンピックの区分A（中学3年）及び国体少年女子B100mHの規格である。

※ ジュニアオリンピックの区分A（中学3年）の参加資格は、2003(平成15)年4月2日から同年12月31日までに生まれた者である。2004(平成16)年1月1日から同年4月1日までに生まれた者は、区分B（中学3年）となる。

本記録会では区分A（中学3年）のハードル規格のみを実施する。

## 2 招集について

(1) 招集所は、**北器具庫の南側（100mのスタート地点の西側）**に設ける。

(2) 招集開始時刻、招集完了時刻、現地集合時刻は、その競技の開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

**招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場したものとして処理する。**

	招集開始時刻	招集完了時刻	現地集合時刻
トラック競技	30分前	20分前	10分前
跳躍競技	60分前	50分前	40分前
投てき競技	60分前	50分前	40分前

(3) 招集所で点呼を受けた競技者は、(2)の現地集合時刻までに各種目のスタート地点やピット（現地）に各自で移動し、競技役員の点呼を受け、指示に従うこと。

(4) 出場種目を欠場する場合は、**招集開始時刻までに「欠場届」**を招集所の競技者係に提出すること（用紙は招集所に準備）。

(5) 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻前までに、「2種目同時出場届」を招集所の競技者係に提出すること（用紙は招集所に準備）。

## 3 ウォームアップ場（練習会場）について

(1) 風除室について

ストレッチとダッシュのみの使用を認める。風除室の壁側をストレッチスペース、走幅跳ピット側をダッシュスペースとする。ダッシュスペースでの私物を用いた練習は禁止する。

ジョッグやドリル等は競技場周辺で安全に配慮して行うこと。

スターティングブロックは主催者が準備する。

(2) ハードル種目のウォームアップ（競技の前の練習用ハードルの設置）について

- ① 110mハードル・100mハードルの練習用ハードルを、風除室に置く。
- ② 400m練習用ハードルを、周回種目を実施していない時に、第1曲走路からバックストレートに置く（7レーン：女子用、8レーン：男子用）。

(3) フィールド競技（跳躍・投てき）のウォームアップについて

- ① 跳躍競技・投てき競技のウォームアップ場は設けない。招集完了・現地集合の後、競技場所で競技役員の指示により行うこと。
- ② 事故防止のため、フィールド内芝地でのウォーミングアップは禁止する。

4 競技者が本大会で使用する器具は、棒高跳のポールを除いては、主催者の用意した物を使用すること。

5 跳躍競技のバーの上げ方は、村山・最北地区国体予選と同じとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	
男子走高跳	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	以後 3cm
女子走高跳	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	以後 3cm
男子棒高跳	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	以後 10cm
女子棒高跳	1m80	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	以後 10cm

なお、開始の高さは変更することがある。

6 男子の三段跳びの踏切板の位置は、全て10mと12mとする。女子三段跳の踏切板の位置は、全て9mとする。

7 長さを競う跳躍競技及び投てき競技は、すべて4回試技とする。

8 その他

競技中の事故について、主催者は応急処置を行うが、以後については各自の責任で対応すること。